

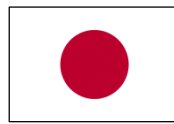
Re-Inventing Japan Project

大学の世界展開力強化事業

Inter-University Exchange Program  
Toward Medical and Dental Networking in Southeast Asia

東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

## タイ歯科研修プログラム 2014



August 29-September 7, 2014



## 目次

ページ

I	研修風景 Memorial	
Pictures	・ ・ ・ ・ ・	1
II	歯科医療研修プログラム Dental Training	
Program	・ ・ ・ ・ ・	9
III	参加学生募集要項 Application Guide for the	
Program	・ ・ ・ ・ ・	11
IV	研修日程 Schedule of the	
Program	・ ・ ・ ・ ・	14
IV	学生によるレポート（日本語・英語） Student	
Reports	・ ・ ・ ・ ・	17
V	学生報告会 International Symposium and	
Seminar	・ ・ ・ ・ ・	54

## I. 研修風景 Memorial Pictures

### 1 シーナカリーウィロット大学の見学

Visiting to Srinakharinwirot University



## 2 SWU の先進医療センター訪問 Visiting to SWU DENTAL CENTER



## 3 明治大学の国際交流センター訪問 Visiting to International Exchange Center of Meiji University





4 アソックプレイスデンタルクリニック（SWU の歯学部長の医院）の見学  
Visiting to private dental clinic



5 チュラロンコン大学の見学 Visiting to the Chulalongkorn University



## 6 歯型彫刻実習 Wax Carving Practice



## 7 ヘルスセンターの見学 Visiting to the Health Center





## 8 パヤタイハウス見学 Visiting of Phaya Thai House



## 9 サイアムパラゴンの health exhibition 見学 Visiting to Health Exhibition in Siam Paragon



10 パクレットの孤児施設の訪問 Visiting to an orphanage in Pakkred



11 学生交流 Exchange with students







## II 歯科医療研修プログラム Dental Training Program

### 研修期間

2014 年 8 月 29 日（金） ～ 9 月 7 日（日）

### 研修目的

- ・ タイの歯科保健システムや歯科保健状況を理解する（歯科関連施設の見学）
  - ・ タイの歯科医療について理解する（大学附属病院の見学）
  - ・ タイの歯学教育について理解する（歯科大学の見学）
  - ・ タイの歯学部学生や教員との共同作業・交流を通して、英語によるコミュニケーション能力を向上させる
  - ・ タイの歴史、文化、習慣、言語などを理解する（異文化理解）
- 上記活動を通して学生の国際理解力を向上させ、将来学生がグローバルな課題に対応できる歯科医療人・国際研究者を目指すための動機付けを行うことが本研修の目的である。

### Flight

行き 8 月 29 日 NH847 出発 東京（羽田）10:50 到着 バンコク  
15:25  
帰り 9 月 6 日 NH850 出発 バンコク 22:25 到着 東京（羽  
田）6:40

### 滞在先

Chulalongkorn University international House (CU iHouse)  
268 Chulalongkorn, Soi 9, Charasmuang road, Wangmai, Pathumwan, Bangkok,  
Thailand

電話：+66-2-217-3188 Fax：+66-2-217-3111

### 予定訪問先

Chulalongkorn University (CU)  
Srinakharinwirot University (SWU)  
現地地域歯科保健センター など

### 参加学生

歯学科 4 年 3 人  
川面理紗、佐川夕季、中島すみか

### 引率教職員

川口陽子（タイ拠点運営管理者、健康推進歯学分野）

小野田勝次、石田雄之（国際交流センター）

**国内連絡先**

東京医科歯科大学国際交流センター

国際交流課国際交流掛

担当：柴田、延原

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

Tel 03-5803-4941 Fax 03-5803-0366



### Ⅲ 参加学生募集要項

#### Application Guide for the Program

#### 平成 26 年度短期海外歯科研修プログラムへの参加学生募集について

事業推進責任者 田上 順次

本学は平成 24 年から 5 年間、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業～ASEAN 諸国等との大学間交流形成支援～」に採択されました。本プログラムは、東京医科歯科大学が、タイのチュラロンコン大学、インドネシアのインドネシア大学およびベトナムのホーチミン医科薬科大学と連携してコンソーシアムを形成し、我が国が有する先端的な医療・歯科医療機器や材料、最新の医療・歯科医療技術等を基盤として、東南アジアにおいて大学間交流を推進してネットワークを形成し、我が国の医歯学領域の世界展開力を強化する取組です。本事業の一環として歯学科及び口腔保健学科の学生が海外で研修や学生交流を行うことを支援します。

平成 26 年度については、以下の要領で参加学生を募集します。

1. 派遣先： 1) チュラロンコン大学歯学部（タイ）  
2) インドネシア大学歯学部（インドネシア）

派遣先大学	派遣期間（予定）	対象学生	募集人数
チュラロンコン大学（タイ）	平成 26 年 8 月 29 日 （金） ～9 月 7 日（日）	歯学科 3～4 年	8 名程度
インドネシア大学 （インドネシア）	平成 26 年 8 月 27 日 （水） ～9 月 8 日（月）	歯学科 3～4 年 口腔保健学科（口腔 保健衛生学専攻）3～ 4 年	合計 12 名程度

2.            研修内容： 大学附属病院の見学・健康教育・学生交流・ 海外公開講座の補助等
3.            支援内容： 往復航空券
4.            奨 学 金： 前年度の成績評価係数(GPA)が 2.3 以上の場合には、独立行政法人日本学生支援機構（以下 JASSO）から 7 万円の奨学金が支給されます。（JASSO 規程により日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者のみ対象）  
              ※ GPA2.3 未満の場合、または留学生には奨学金は支給されませんが、研修への参加は可能。  
              ※ 自分の GPA は、教務掛で確認してください。毎年 4 月に開示している GPA は、前年度までのトータルな GPA なので、この数値ではありません。
5.            選考方法：  
              書類選考、及び英語による面接  
              ※面接の日時、場所等は申請書受付後、メールにて連絡します。  
              面接は 4 月下旬を予定。
6.            申込先・締切日：  
              募集要項を学務部教務課歯学系教務掛から受け取り、申請書（様式 1）を本学 HP 内 <http://www.tmd.ac.jp/grad/ohp/sekaitenkai/index.html> からダウンロードし、必要事項を入力の上、原本を歯学系教務掛に、データを [kokusai.adm@tmd.ac.jp](mailto:kokusai.adm@tmd.ac.jp) まで提出してください。  
              締 切：平成 26 年 4 月 18 日（金） 17:00 まで（時間厳守）
7.            事前研修：  
              派遣前に海外派遣英語準備コース・健康教育コースの受講が必要です。  
              ※ 毎週木曜日放課後の予定です（約 10 回）。日程の詳細は選考後に連絡します。

8. 留意事項：

- 1) 派遣前に本学が加入する危機管理サービス” OSSMA” 及び海外旅行保険に加入すること（加入費用は個人負担）
- 2) 派遣終了後は、各種研修報告書を提出し、アンケート調査へ回答すること。
- 3) 歯学科学生は10月24日（金）に開催される学生交流プログラム報告会で成果を発表すること。口腔保健学科学生も別途、報告会で発表する場合がある。

9. 単位認定：

海外歯科研修プログラムに参加し、一定の条件を満たす学生には以下の単位を認定します。

- ・ 歯 学 科 学 生：自由選択科目「デンタルエクスターンシップ」1 単位
- ・ 口腔保健学科学生：選択実習等の単位に含まれる

問い合わせ先

学務部教務課歯学系教務掛 加来、岡田（内線 5411）

国際交流課国際交流掛 柴田・田中（内線 4941）



#### IV. 日程 Schedule

	Date	Time	予定	備考
1	8.29 (Fri)	8:20 10:50  15:25 17:30	羽田空港国際線ターミナル集合 出国 NH847 (羽田空港発 バンコク 行き)  バンコク着 インターハウス (CUi house) チェ ックイン 夕食	
2	8.30 (Sat)	AM 9:00-  PM	インターハウスロビー集合 終日、CU4年生とバンコク市内観光 (CU 大からバンを提供)	
3	8.31 (Sun)	AM 9:00-  PM	インターハウスロビー集合 終日、CU6年生とバンコク市内観光(バ ンの提供なし)	
4	9.1 (Mon)	AM 10:00～  PM 13:00～ 14:00～	SWU 大学訪問① 施設見学  実習見学 アソックプレイスデンタルクリニック 見学	
5	9.2 (Tue)	AM 10:00～  PM 13:00～	SWU 大学訪問② 歯学部附属病院訪問  Nirada 先生、Bawl 先生による講義 (歯科教育と公衆衛生)	
6	9.3 (Wed)	AM 9:30～ 11:00～  PM 13:00～	CU 大学歯学部訪問① オリエンテーション (CU-TMDU 協力 センター) Wax carving Practice  Wax carving Practice	13:10 川口教授バンコク着 (GA866)
7	9.4 (Thu)	AM 9:30～	CU 大学歯学部訪問② パヤタイハウス訪問	

		PM 13 : 00～	ヘルスケアセンター見学 サイアムパラゴンの health exhibition 見学	
8	9.5 (Fri)	AM 9:30～	CU 大学歯学部訪問③ バクレット障害者センター見学	
		PM 13:00～ 15:00～	CU 内施設見学 ラップアップミーティング (CU- TMDU 協力センター)	
9	9.6 (Sat)	AM 10:00～	バンコク市内観光	9:45 川口教授インターハウス 発 (JL32)
		PM 22:25	出国 (NH850)	国際線の空港税 (自己負担)
10	9.7 (Sun)	AM 6:40	羽田着	

## VI 学生レポート Student Reports

川面 理紗 Risa Kawatsura

私はこのプログラムで多くのことを学びました。特に印象に残ったのは以下の3点です。

まず始めに、タイと日本の歯科教育の相違点です。今回私達はチュラロンコン大学(CU)とシーナカリンウィロット大学(SWU)の2大学を訪れました。大学内の施設だけでなく実習も見学しました。また、先生方や生徒の皆さんと多くの話をしました。副学部長の先生方の講義を受けたり、先生方に指導を受け、実際の授業で行われているワックスカービングを体験しました。ここでわかったこととしては、歯学部のカリキュラムは、ワックスカービングや解剖学、クラウン・ブリッジの実習など医科歯科大学でも行われていますが、実習を行う時期や期間などが異なるということです。さらに、実習の器具を買わなくていいことなども違いました。実際に体験したワックスカービングでは、医科歯科大学と材料や実習方法が全く異なったため、難しかったですが貴重な経験となりました。講義の中では、タイの大学受験が日本と同様に厳しいことや、歯科医師国家試験が筆記試験だけでなく、実技試験も含んでいることを知りました。幼少期から熱心に勉強することは日本とも共通していることであると実感しました。そして、医科歯科大学では大学5年生から患者さんに治療を行うのに対し、タイでは4年生で治療を行っていることにも驚きました。

次に、タイと日本の歯科医療の相違点です。1つ目は診療費です。今回多くの歯科医院や上記の2つの大学病院を見学しました。日本とタイの歯科治療費の違いには驚きました。例えばある歯科医院では矯正治療にかかる費用が日本より格段に安かったです。また、最先端の器具・器械が導入されていました。安い治療費と治療の質の高さがメディカルツーリズムにつながっていると思います。2つ目はタイでは予防歯科が発達していないということです。私達は、大学の他に、児童養護施設も数多く訪れる機会があり、タイの貧富の差に直面しました。孤児の数があまりにも多いことに衝撃を受けました。そこには、チュラロンコン大学の5年生の生徒が治療に訪れていました。子供達には教育も行われ、幼児のための哺乳瓶や離乳食もありました。私はその時養護施設の子供たちが十分に予防歯科の知識を得て、歯の健康を守ることが必要だと思いました。3つ目は、タイの歯科医師不足です。チュラロンコン大学の関連施設であるヘルスセンターに行き、お話を伺った時にそのことを知りました。同時に歯科医師が都市部に集中しており、郊外では不足していることは日本と共通の問題だと認識しました。タイでは歯科医師を増やす必要はあると思いますが、もし増えすぎると日本のように歯科医師過剰問題がおこるので、慎重に考え、解決するべきです。



最後に、英語でのコミュニケーションの重要性です。私は、言いたいことを英語にして伝えるのに苦労しました。初日は会話を続けるだけで疲れている状態でしたが、日を追うごとに少しずつ英語に慣れ、楽しくなり、もっとコミュニケーションをとりたいと思うようになりました。今回は、毎日英語に触れ、使うという貴重な機会だったと思います。英語は私が将来歯科医療に携わる上で、外国の患者さんと話す時、論文を読む時、外国でプレゼンテーションを行う時に必要不可欠なものです。今回の経験を生かし、これからも英語を勉強したいと思いました。また、様々な国の方とコミュニケーションを取り、日本との歯科医療やの違いだけでなく、文化の違いも知りたいと思いました。

このように、プログラムに参加する前には詳細が分かっていなかったタイと日本の相違点を、10日間で実感することができました。このような機会を与えて下さった先生方やスタッフの皆様、生徒の皆さんに感謝します。

Among many things I learned through this program, I was especially impressed by the following three points.

First, There are many differences in dental education between Thailand and Japan. This time, we visited Chulalongkorn University (CU) and Srinakharinwirot University (SWU) and studied by observation not only their facilities but also dental practice. Furthermore, I talked a lot with teachers and students there. We had lectures from two vice deans and had an experience of wax curving by Thai methods under the guidance of teachers in CU. What I learned there is that the curriculum of faculty of dentistry is different from that of Tokyo Medical and Dental University(TMDU) in terms of the timing and period of practice including wax carving, anatomy, and crown and bridge. Additionally, the students of TMDU have to buy instruments of lab practice whereas students of SWU don't. Even though, when I actually experienced the wax curving, it was difficult because the material and the methods were very different, it was a good experience for me. In the lecture, I learned that the university entrance exam is as competitive as it is in Japan and national exam for dentists includes not only paper tests but also practical examination. I realized that it is common that students have studied hard since they were younger. Additionally, I was surprised that dental students in Thailand start treating patients in the 4th year while students in TMDU start it in the 5th year.

Second, There are three differences of dental care between Thailand and Japan. First, it is dental fee. This time, I looked around many private dental clinics adding to two

university hospitals. I was amazed at the difference of dental care fee between Japan and Thailand. For example, in one private dental clinic in Thailand, it is cheaper for orthodontic treatment than that in Japan. Additionally, the most advanced instruments are introduced there. I think that affordable fee and high quality of treatment connect with medical tourism. Second, in Thailand, preventative dentistry doesn't become widespread. We visited many orphanages and faced the gap between rich and poor people. I was shocked there were too many orphans. The 5th year students in CU visited for dental treatment training there. They educate the children. There were baby bottles and baby foods. At that time, I thought that it is necessary for children in orphanages to know the importance of preventative dentistry and protect their teeth by themselves. Third, there is a problem of dentist shortage in Thailand. When we went to health center which has partnership with the faculty of dentistry in CU and listened to teachers in the center, I learned it. At the same time, I recognized that it was the common problem in Japan and Thailand that many dentists work in urban area while the number of dentists who works in rural area was much smaller. I think the number of dentists should be increased. However, it will cause another problem that the number of dentists is too much. Therefore, we should think and solve the problem with careful consideration.

Finally, I felt the importance of the communication in English. I had trouble telling what I wanted to say. On the first day, I got very tired only by continuing conversation in English. However, day by day, I became familiar with English and enjoyed it, hoping to have more communication. I think it was the precious chance to touch and use English this time. English is necessary for me to work for dental care, read articles, talk with foreign patients and conduct presentations in foreign countries. I want to continue to study English from these experiences. I want to have a communication with people in foreign countries and know not only the difference of dental care but also cultural differences from those of Japan.

Like these, for 10 days, I was able to realize differences between Thailand and Japan which I didn't understand details before participating this program. I really appreciate all teachers, staffs and students who gave me these chances.

佐川 夕季 Yuki Sagawa

今回の研修ではチュラロンコン大学（CU）とシーナカーウィロット大学（SWU）をはじめとし、タイの社会福祉施設や歯科医院等の施設で研修を行いました。また、CUの学生の案内で、タイの観光地やお店をまわり、タイの文化に触れたり、学生との交流を深めたりすることができました。

今回私がこの研修に参加する目的は、歯科医療・歯科教育についてタイと日本ではどのように違うか比較してみたいということ、タイの学生と親睦を深める共に英語でコミュニケーションをとることに慣れるということでした。

まず歯科医療・歯科教育について、タイと日本で比較して考える機会は研修中多くの場面でありました。タイの歯科医療に関しては、まだ歯科医師が足りておらず毎年歯科大学を増やしていつている状況ですが、見学した大学病院や診療所での治療を見る限りタイの歯科医療が日本に対して「遅れている」という印象はあまり受けなかったです。むしろ大学病院でのユニット数は多く、ユニットのスペースも広がったです。歯科教育に関しても、臨床実習を始めるのが4年生からと日本より早いです。そして、何より生徒の勉強時間、実習の練習時間、やる気には驚かされました。交流したCUの学生もSWUの学生も学校の授業と予習・復習が大変でほとんどサークル活動ができないようでした。また、CUの大学紹介で、興味深かったのは「White coat ceremony」というものでした。臨床実習に入る前に今まで支えてくれた家族への感謝を表した動画を作成するそうです。臨床実習では実際に患者さんを診るので、医療者としての覚悟を決める儀式があるというのは良いことだと思いました。

社会福祉施設での見学では、タイの社会事情を学ぶことができました。社会福祉施設としてはHealth Centerという保健所のような施設と親のいない子供や親が面倒をみられなくて預けている児童福祉施設のような場所を複数見学しました。特に印象的であったのは児童福祉施設でした。障害児も含め多数の子供たちが預けられていて、年齢ごとに分けられた部屋で面倒をみてもらっていました。親のいない子どもや障害児が1部屋に30人はいる部屋がいくつもあり、そこまで大規模な施設は日本で見たことがなかったため衝撃を受けました。タイでは若年者の妊娠や孤児の増加が社会問題となっているようでした。日本とは違った状況を見てショックも大きかったですが、非常に貴重な経験になりました。見学した児童福祉施設のうちの一つにはモバイルデンタルチェアを運び入れて歯科治療をする場があり、CUの5年生の歯学生が実習を行っていました。私たちは福祉施設での実習があまりないためその光景が新鮮でした。

研修で歯科について学ぶだけでなく、CUやSWUの学生との交流もできました。CUの学生にはタイの寺院や博物館、ショッピングモールなどに連れて行ってもらいました。

様々なタイ料理も勧めてもらいました。英語も流暢で、観光地の紹介や買い物の仕方など様々のことを英語で説明してくれました。試験前の期間で忙しい時期ではありましたが、1日中バンコク市内の観光案内を行ってくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。SWUの学生には大学の中を案内してもらいましたが、歯学生の授業や生活について英語でたくさんお話できました。この度知り合いになった学生ともソーシャルネットワークを利用し、連絡を取り合うことが可能であるので、帰国後も連絡を取り合えるタイの友達ができたことがとてもうれしかったです。

今回の研修では当初の目的はもちろん、それ以上の体験ができたと感じています。タイの歯学生の姿勢を見て、歯学生としての自覚を新たにでき、学習に対するモチベーションがとても上がりました。また、研修の始めのころはなかなか思うように英語が聞き取れず、話すこともできませんでした。タイの学生とコミュニケーションをとりたくて英語を積極的に聞き、話し、ソーシャルネットワークでコンタクトをとるなどしていたら、自然と英語への抵抗がなくなりました。このような貴重な機会を与えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れず今後の学習に生かしていきたいと思います。

In dental training program, I went to Chulalongkorn University (CU), Srinakharinwirot University, private dental office and social welfare facilities in Thailand. And I went sightseeing and shopping in Bangkok with CU dental students' guide. I experienced Thai culture, Thai customs and Thai foods, and made a relationship with Thai students.

My aims of this program were to compare dental treatment and dental education system between Thailand and Japan and to make personal relationships with Thai dental students.

First, I had many chances to compare dental treatment and education between Thailand and Japan. in this program. In Thailand, there are not enough dentists. So these latest few years, some dental universities were founded. But, dental treatments in Thailand are almost similar to those in Japan. In university hospital, there are many dental units and large for each dental unit. Some departments have advanced facilities, such as microscope and CT scan. And Thai insurance system is very different from Japanese. Insurance system in Thailand is very complicated. Dentists can set fees of dental treatment in their clinics.

As to dental education, clinical training in Thailand starts earlier than in Japan. Actually, I will start it from 2nd semester 5<sup>th</sup> year, but Thai students start from 2nd



semester 4<sup>th</sup> year. And I was very surprised at Thai students' motivation to learn. Many students don't have club activity because they have to review the last lecture and study the next.

Additionally, I was impressed about "White coat ceremony". The ceremony holds just before their starting clinical training. We don't have such a ceremony in our faculty, TMDU. They can make up their mind to clinical training. And I watched one movie which students prepared for the ceremony. They wanted to show their appreciation for their family and their all supporters in the movie. I felt moved in that very much.

And, I went to Health Center and welfare facilities for children. Health center has two dental chairs. Dentists provide easy treatments, such as filling, scaling, cleaning and tooth canal treatment. Dentists working there are public officers. There are more public dentists in Thailand than in Japan. One welfare facility for children has a dental clinic, and post graduate students practiced treatments there. The other welfare facility for children doesn't have dental clinic, but CU students went there and provided dental examinations and instructions by in mobile dental chairs. The systems are different from Japan.

I also noticed social problems in Thailand. Especially, I was shocked in welfare facilities for children. There were many children who didn't have parents. And there were many disable children, too. They were classified according to age. About 20-30 children lived in one room. But staffs were two or three. So, staffs were very busy to take care for them. And there were about 20-30 disable children in one room, too. Disable children who couldn't stand up were left just alone on each bed. The bed seemed like uncomfortable. I was too shocked for words. In Thailand, early childbearing and orphans are increasing recently. Thai people can't abort the pregnancy for their religious reason. This was one of the causes. And, early childbearing cause making disable children. This social problem is not in Japan. So, I was very shocked and surprised at all experiences in child welfare faculties.

Finally, I had many good memories with Thai students. CU students took us many good places in Thailand, for example, Wat Arun, Wat Pho, JJ market, some shopping malls and so on. They are busy because of exams, but they guided us all a day. Their English was very good, and gave us some introductions about building, Thai customs and Thai culture clearly. And they recommended us many kinds of Thai foods, and foods were very delicious for me. I was surprised and impressed at their all kindness. I made good

relationships with Thai students. These days, social media get advanced. So I can contact them easily after I came back to Japan. I'd like to keep contact with Thai students.

My aims of this program were achieved and I got much more experiences than I expected before the departure. I got motivation of studying dentistry and English increase. I appreciated all people who give me such a good experience.

中島 すみか Sumika Nakajima

今回の研修は、私にとっては初めての海外渡航だった。屋台が並ぶ町並みや食事、生活における感覚など、全てが新鮮で、忘れられない経験となった。

1日目と2日目は、チュラロンコン大学の学生に観光案内をしていただき、寺院や J・J・マーケットに行った。皆ホスピタリティが高く、タイに旅立つ前に自分でタイ料理のマッサマンカレーをつくった話をすると、喜んで聞いてくれたりして、タイの学生の対応が温かく、最初は緊張していたのだが、すぐに打ち解けることができた。

3日目～5日目は、今年から新たに行うこととなったシーナカリンウィロット大学での研修を受けた。先生からタイの公衆衛生や診療システム、唇顎事情などについて直々に講義を受けた。英語で質問をする機会があり、タイの公衆衛生などについて日本とタイの違いについて知ることができ貴重な経験となった。またこの歯学生はみんな意欲が高く、4年生では毎日8時から12時まで講義を受け、昼休み午後の実習の準備を行い、13時から16時まで実習を受け、実習後はさらに19時までスキルスラボでトレーニングをするようで、日本との違いに驚いた。タイでは4年生から臨床実習が始まり、日本より多くのケースをこなすことができるのも、うらやましく思った。また日本との学生交流に関しては、明治大学との国際交流が盛んであった。新しい建物の上層階には学生が運営を手伝っているホテルがあり、国際交流で夜遅くまで研修を受けても泊まれるようになっている。勉強が思う存分できる環境が整えられていて感銘を受けた。

チュラロンコン大学の研修では、大学病院の見学や、学生がボランティアで訪問しているバンコク市内のヘルスケアセンターなどを見学した。またタイ式のワックスカービング実習を受ける機会があった。2年生で行うのだが、私たちは歯の鑑別だけだったのに対し、咬頭の位置関係まで考慮しながら自分でワックスを盛り上げていった。今回は下顎6番のワックスカービングを行ったが、タイ式の手技は難しいと感じたが、早期から歯の形態をよりよく理解できる実習だと感じた。最終日、わたしは非常にショックを受けた。孤児の施設を見学したのだが、6歳前後の、手足の奇形のある子達が、ぎっしりと並んだ100台以上の簡易ベッドに寝かされているのである。日本でも障害児施設の見学をしたことはあるが、この障害児や孤児の多さに言葉も出ないほどの衝撃を受けた。宗教上タイでは中絶が許されないため、早期妊娠や孤児の増加が深刻な問題となっている。このような子達はスタッフの方が懸命にケアをしてくださっているとはいえ、口腔内の衛生状態はとても低いと思われる。タイには歯科医が全国で1万人おり、うち半分はバンコクに集中している。DMFT値はここ20年で一向に改善していないのだが、対策としては貧困層や孤児に対する健康面のケアが重要になると感じた。また予防歯科においては、フッ素入りミルクを飲ませており2～5歳の虫歯が減ってきている一方、子供用歯ブラシが存在せず、まだまだ歯科疾患の予防にお

いては改善の余地がありそうだと感じた。

この10日間で、英会話が上達したと自信を持つては言えないが、発音や文法以上に大切なのは、相手に伝えようとする心であると身をもって感じた。英語は日本語と比べると強弱の言語であるため、どれだけフィーリングを自分の言葉に込められるかが大事なのではないか、と感じた。私は文を組み立てることや適切な質問、会話をする事に一生懸命になってしまい、上手くコミュニケーションを取れないことも多かったのが悔やまれる。今後もアカデミックに生きるには英語が必要だと思うので、今後も英雄の能力を高めていきたいと思った。

機会を与えてくださった医科歯科大学並びにタイの先生方、生徒の皆さんに、心から感謝致します。

This training program was the first trip abroad for me. The lined street stalls, Thai foods, lived-in feel and everything were fresh for me. Those became good memories that I can't forget.

In first and second day, we were guided by Chulalongkorn University's students. We saw some temples and went to J・J・market. All of them had a good sense of hospitality so that they treated us so heartwarmingly ; for example, they listened to my story with fun that I cooked matsaman curry, which is one of the Thai food in Japan before the departure to Thailand. So, at first I was so nervous, but soon I became to be able to talk with them in a familiar way.

From third to fifth day, we visited Srinakharinwilot University (SWU). This SWU program started this year. We took the lecture about Thai public health , treating system, oral condition so we learned many precious things from teachers. We had an opportunity to ask questions about that lecture in English. And this university's students were highly motivated to learn. For instance, in 4<sup>th</sup> year, they take lectures from 8 to 12 am, and then prepare for lab practice at lunch. After that they do lab practice from 1 pm for about 3 hours, and finally also learn more in self-training lab room. I was surprised by that difference from Japanese. In Thailand the clinical training of students starts in 4<sup>th</sup> year. They can get more clinical experiences form case practices than Japanese students, so I felt envy at their curriculum. And that university willingly promote international exchange with Meiji university. In upper floor in a new building, there is a hotel where anyone can stay and students who took international lecture until around midnight can also stay. I was impressed that this university



provides their students good environment that allow students learn fully.

At Chulalongkorn University (CU), we visit university hospital and health care centers in Bangkok where CU students visit for their practical training and so on. In second day at CU, we three students practiced a wax curving in Thai method. CU students take this training in 2<sup>nd</sup> year. In case of us we trained only teeth sorting, but in this practice we initially piled up wax on each cusp's position. In that day we made the half-top crown of lower right first molar. It was difficult but good practice because we understood teeth morphology throughout this short training. And in the last day, I saw very shocking scenes. When I visited orphan care center, around 6 years old children who had abnormal limbs were put in over 100 cots in one room. I have visited centers for handicapped children in Japan, but have never seen that situation. That time I was deeply shocked how large the number of handicapped children and orphans. In Thailand, for religious reason they can't abort, so increase of young pregnancy and orphans is a serious problem there. They are taken care of by nursery teacher, but I feel their oral hygiene were very poor. In Thailand there are 10 thousand dentists and half of them are in Bangkok. And the value of DMFT haven't been improved in the decade. I think health care for the poor and orphans are important to solve this problem. About preventive dentistry, Thai people serve fluoride milk to their baby so caries in from 2 to 5 years children have been decreased. But there are no small teeth brush for children, so I felt Thailand can improve how to prevent dental illness much more.

In these 10 days, I can't clearly say that I improved my English conversation skill through this program. But the more important thing than pronunciation or grammar, is the heart to tell to others willingly. I noticed it strongly at that time. Intonation is more important in English compared to Japanese, and I think it depends on how we can put our feelings on our words. I regret that I mostly paid attention just only to making each sentence and asking proper questions in spite of myself, so I couldn't fully communicate with Thai people. I think English is necessary if we want to be an academic doctor. So I want to improve English skill also from now on.

I appreciate so much for all TMDU teachers, and Thai teachers and students.

## Ⅶ 学生報告会

### 1. International Symposium

#### 国際シンポジウムでの発表（歯学科）

日時：平成 26 年 10 月 24 日（金）13：00～16：00

場所：MD タワー鈴木章夫記念講堂

参加学生：東京医科歯科大学歯学部歯学科 2，3，4 年生全員

チュラロンコン大学（タイ）歯科学生 8 名

シーナカリンウィロート大学（タイ）歯科学生 6 名

インドネシア大学（インドネシア）歯科学生 8 名

ホーチミン医科薬科大学（ベトナム）の歯科学生 8 名

**Date:** October 24 (Fri), 2014 13:00-16:00

**Venue:** 2<sup>nd</sup> Floor, Suzuki Akio Memorial Hall, M&D Tower

**Participants:** D2, D3, and D4 (TMDU)

Overseas students from CU, SWU, UI, and UMP (30 students in total)

# Dental training program in Thailand

Risa kawatsura

Yuki sagawa

Sumika nakajima



## Schedule of the program

Aug.29-31

- Arrival in Bangkok
- Student exchange with CU students

Sep.1-2

Srinakharinwirot University

Sep.3-5

- Chulalongkorn University
- Community Health Center

Sep.6-7

- Cultural exchange
- Departure

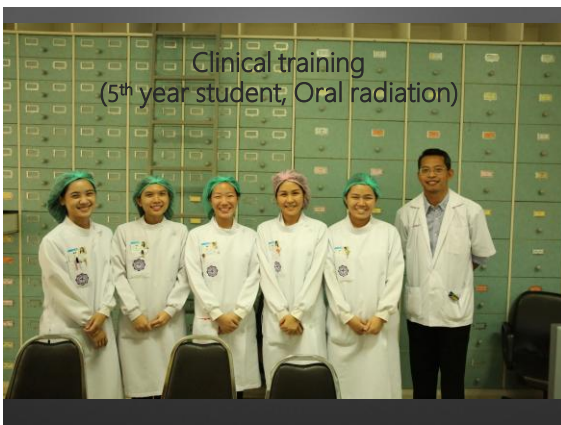
## Dental Clinic in SWU (University Hospital)



Clinical training  
(5<sup>th</sup> year student, Oral surgery)



Clinical training  
(5<sup>th</sup> year student, Oral radiation)



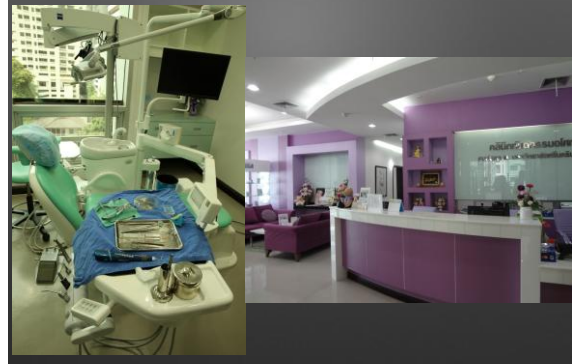
## Pedodontics clinic



Private Dental Clinic in SWU new big building



Observing in the clinic



Dr.Narongsak's Dental Clinic



Student exchange in SWU



At Chulalongkorn University (CU)



Differences in wax carving methods



Thailand

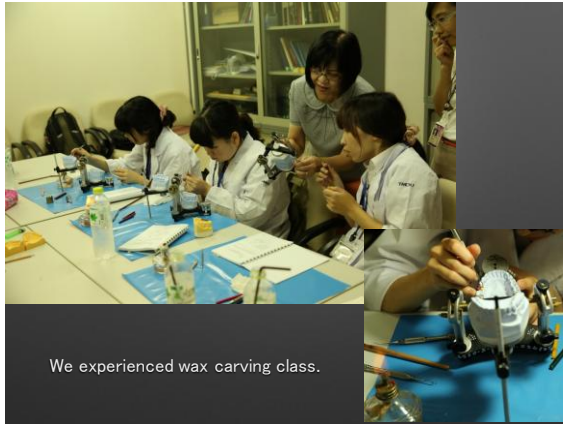
Materials: 4 wax sticks  
(red,blue,yellow,green)  
Instruments: 3 knives and a spirit lamp  
Method: melting and dropping wax  
carving wax



Japan

Materials: 1 wax bar  
Instruments: Carving Knife,  
Method: carving wax





We experienced wax carving class.



Clinical training in CU

In university hospital

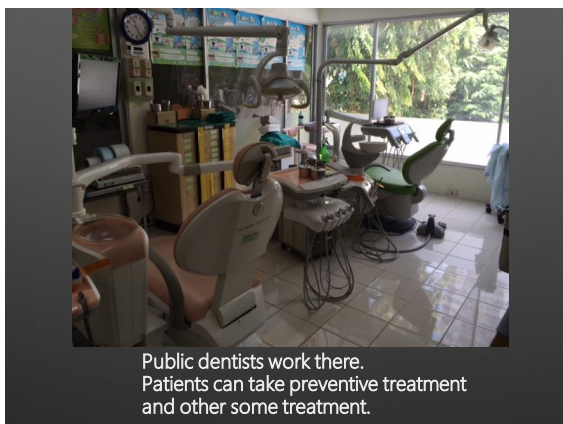


Clinical training in CU

In public facilities  
for children  
They treat them for free.



Health Center



Public dentists work there.  
Patients can take preventive treatment  
and other some treatment.



National Health Exhibition





Wat Arun

